

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	地域に役立つ公園づくり事業						掲載ページ		
							137		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		234,794	千円	175,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	公園建設課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	身近な公園の再整備について、地域住民によるワークショップで、計画策定を行います。計画段階から市民の方々に参加してもらうことで、地域のニーズに合った市民目線での計画を策定し、公園を身近に感じられ、公園を積極的に活用してもらう状態にすることを目指します。						
活動計画	当事業はH20年度より実施しており、H25年度は、2校区でワークショップを開催し計画策定を行います。その翌年より約2か年をかけて整備を行います。						活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）		→	【活動の状況】	
	市民が身近に公園を感じられる状態	31 公園	35 公園	38 公園		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	当事業は、地域住民とのワークショップを重ね、地域のニーズを反映させた公園を整備するため、「当事業による整備公園数」を指標とします。 <small>（最終目標と最終年度）</small>			108.6 %				
					順調		順調	
<small>（最終目標と最終年度）</small>				やや遅れ				
				遅れ				

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 H25年度に2校区行い、地域の公園の現状、問題点をワークショップを通して共有することができました。また多世代にわたり、広く意見を取り入れるために、小学生、幼稚園児保護者へのアンケートを実施しました。参加者の皆様から「地域の公園のことが理解でき、良い機会であった。」「公園管理についても積極的に話ができよかった。今後、地域で話し合う機会を持ちたい。」等、高い評価を受け、地域に根付いた身近に感じられる公園として認識してもらうことができました。少子高齢化が進む中で、地域ニーズに応じた公園整備は必要であり、地域住民の意見を聞きながら当事業を行うことは、事業目的を達成する上で有効であると考えます。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 整備については公園施設の使用できるものは再利用し、本当に必要な整備かどうかを地域の皆様とよく議論し、常に工事のコスト削減を踏まえた上で効率的な計画づくりを行っています。民間活力については公共性の極めて高い事業であるため、他の実施主体は考えられず、実施主体は市が適当と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
H26年度は、4校区でワークショップによる計画策定を予定しています。 ワークショップでは、さまざまな世代や立場の方々が意見を交わり、より地域のニーズにあった公園となるよう、多くの方々にワークショップ参加を促すことに努めます。また、地域の方々をはじめとして、各区役所など関連部局と連携しながら公園の再整備計画を考えることで、地域の方々がより公園を身近に感じ、地域行事等での公園利用の活性化を目指します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	愛着の持てる身近な公園づくり						掲載ページ		
							137		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		625,391	千円	671,650	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	緑政課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	身近な公園において、利用者の要望、意見や危険箇所、老朽箇所に対応した維持補修・改修を行います。					
活動計画	身近な公園において、利用者の要望、意見や危険箇所、老朽箇所に対応した改修を行います。						
活動実績	活動実績は下記のとおりです。						
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	住区基幹公園における維持補修等実施公園数						
	各区まちづくり整備課や東西整備事務所において、主に徒歩圏内の地域住民が利用する公園（住区基幹公園）を対象に行う維持補修・改修工事として、年間約230公園を目標に改修作業を行います。 （最終目標と最終年度）	281 公園	230 公園	223 公園 97.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック 順調	
	（最終目標と最終年度）						

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成25年度は事業費が縮減する中、計画的に整備を実施し、223箇所の整備を行いました。身近な公園では、子どもから高齢者まで幅広い利用があり、利用者が安心して楽しめる公園づくりに努めます。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	利用者の意見や要望を踏まえ、危険箇所・老朽箇所の解消を第一に、必要最低限の整備を行なっています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
利用者の安全を第一に考え、危険箇所・老朽箇所を速やかに補修するとともに、可能な限り利用者の要望に対応していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	紫川都市基盤河川改修事業(紫川マイタウン・マイリバー整備事業)						掲載ページ		
							137		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		758,460	千円	393,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	水環境課

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	小倉都心地域で、治水対策とあわせ、人々が川に集い・憩い・賑わう、「川を軸としたまちづくり」をテーマとした河川整備を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	護岸工事や河道掘削等の河川整備事業を進めることで、潤いのある水辺空間の形成を行います。								
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)	→	【活動の状況】		
	事業進捗率		82 %	83 %	83 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	護岸工事や河道掘削等の河川整備事業を順調に達成していくことで、潤いのある水辺空間の形成とともに、治水整備が施され、安全・安心なまちづくりを進めていくことができます。 (最終目標と最終年度) 平成35年度 100%				100.0 %				
						順調	順調		
(最終目標と最終年度)					やや遅れ 遅れ				

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	護岸工事や河道掘削等の河川の整備により、順調に事業進捗率が推移しています。地域企業、まちづくり団体、行政が一体となった祭りやイベントなど、身近な水辺を中心とした賑わいが活発化しています。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	整備箇所ごとに最も経済的な方法を検討し整備を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後、さらに安全な水辺空間となるよう、治水対策の向上を図るために、護岸工事や河道掘削等の河川整備を行います。潤いのある水辺空間の形成が図られているため、現状のまま進めることが適当と考えます。また、近年、ゲリラ豪雨が頻発する等、河川改修の必要性も高まっていることから、治水整備もあわせて行うべきだと考えます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	新・海辺のマスタープラン推進事業							掲載ページ	
								138	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	港湾空港局
		569	千円	1,751	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	計画課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価					
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	多くの人が、海辺を舞台に憩い、学び、遊ぶことのできる魅力ある海辺を目指します。						活動実績	活動成果は下記のとおりです。
活動計画		平成23年5月に策定した「新・海辺のマスタープラン」の「利用できる海辺を増やす」、「親しまれる度合いを高める」という目標に基づき、本市の海辺利用に際してのルールとサインの策定と、その広報のためのルールブックを作成します。							
活動指標	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】			
	市民が、北九州市の海辺や港について満足している割合	37.5 %	平成24年度の割合（37.5%）より増加すること	33.6 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	市民意識調査で、市民が、北九州市の海辺や港について満足している割合をモニタリングします。（調査は、毎年度行います） ※最終目標は、市民の4分の3以上が満足していることを目指します。 （最終目標と最終年度） 75%（平成32年度）								
					順調	やや遅れ			
				やや遅れ					
				遅れ					

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	モニタリング結果によると、海辺や港について満足と答えた割合（33.6%）が前年度の割合（37.5%）より減少していることから、「やや遅れ」とであると判断しました。 ただし、現在重点的に取り組んでいる施策（「短期」の施策）については、本市の海辺利用に際してのルールとサインの策定と、その広報のためのルールブックを作成するなど、有効性の高い活動を行っていると考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は、マスタープランに掲げる施策に順次取り組むものであるため、各取り組みを行う中で経済性・効率性の向上について検討していきます。また、各取り組みは多岐にわたり、他局との連携が必要なものもたくさんあるため、他の事業との連携を視野に入れつつ、効率の良い事業の推進に努めます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
H25年度までに「新・海辺のマスタープラン」の施策実施のスケジュールにあげられた「短期」（概ね3年未満の短い期間で成果を出す）の施策（海岸利用状況の調査や海ナビガイドブックの作成など）から、次の段階である「中期」（5年程度で一定の成果を出す）の施策について重点的に取り組みます。平成26年度は具体的な取り組みとして、企業との協働による環境保全等に取り組みます。